

# 副産物情勢

平成29年12月4日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																								
1.内臓	①国産牛 <p>○平成29年10月成牛と畜頭数は、90.5千頭(前年比102.9%)となり、前年をやや上回った。 内訳を見ると、和牛37.3千頭(前年比 103.2%)、交雑牛21.0千頭(同 109.2%)、乳牛去勢16.2千頭(同 99.1%)であった。 ○平成29年11月の成牛と畜頭数は、速報値(11/30まで集計)で97.2千頭(前年比93.8%)と減少している。 ○(独)農畜産業振興機構が11月24日に公表した牛肉の需給予測によると、12月は1日当たりの出荷頭数は前年を下回るものの、と畜場稼働日数が前年を上回ると見込まれることから、出荷頭数はわずかに、生産量はやや、いずれも前年を上回ると予測している。 ○品種別の12月出荷予測について、和牛は前年をわずかに上回り、交雑種は酪農家における乳用後継牛への黒毛和種交配率上昇により増加が見込まれる一方で、乳用種は減少が継続すると見込んでいる。 ○需要動向については、赤モノはモノにより依然不足気味であるが、需要期の終わりつつあるレバーの動きと、ハラミもホルズから鈍ってきた。 シロモノは小腸・大腸の引き合いは一定量あるものの、市中に輸入品の在庫が多いくと言われ、各社持っている在庫を減らすには至っていない。 より寒さが厳しくなる中で、鍋物等の季節需要を期待したい。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																							
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																								
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																								
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																								
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																								
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg																								
②国産豚 <p>○平成29年10月度全国の肉豚出荷頭数は1,428千頭(農林水産統計11/30公表 前年比104.0%)となった。農水省9月27日発表の月出荷予測では、1,441千頭(前年比105%)と予測されており、前年を上回る結果となった。 ○平成29年11月の全国と畜頭数は、速報値で1,377千頭(11/30まで集計)、前年同比97.1%となっている。稼働日数では昨年と同じ20日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で68,845頭となっている。 ○農水省食肉鶏卵課平成29年11月28日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成29年12月1,515千頭(同102%)1月1,434千頭(同103%)、2月1,310千頭(100%)、3月1,413千頭(98%)、4月1,347千頭(102%)、5月1,394千頭(103%)となっている。 ○需要動向について、引き続きアカモノは全体的に動きよい。タンは来年の需要時期の在庫もできない状況だが、レバーは若干落ち着いてきた。 シロモノも同じく全体的に動きよい。需要期に向けて小腸・大腸・直腸引き合い強い。ハツ・ガツともコンビニ・量販手需要で動き良い。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																								
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																								
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																								
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																								
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																								
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg																								
③輸入牛 <p>○平成29年10月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で43.3千ト(前年比105.0%、前月比71.2%)であった。 内訳は、チルドが22.4千ト(前年比127.9%、前月比88.8%)、フローズンは20.9千ト(同 88.1%、同 58.8%)であった。 チルドビーフについては、豪州産が9.6千ト(前年比 123.9%)、米国産は11.7千ト(同 131.9%)であった。 ○(独)農畜産業振興機構が11月24日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、主に出荷頭数の増加により米国産の輸入量の増加が見込まれることから、月間2万3千ト前後で推移すると予測する。なお、10~12月の3ヶ月平均では、前年同期をかなり上回る。 ○平成29年10月の冷凍輸入牛レバーは104.1ト(前年比140.7%・前月比110.2%)であった。国別では米国56.7t、豪州45.8t、墨国1.5tであった。 冷凍輸入牛腸は1,496.5ト(前年比141.7%・前月比140.3%)とかなり増加した。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																								
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																								
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																								
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																								
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																								
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																								
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																								
2.原皮	①牛原皮 <p>○平成29年10月の輸出実績は、31,860枚(前年比125.0%、前月比134.5%)で、前年・前月とも上回った。輸出平均価格は4,764円/枚(前年比-71円、前月比+126円)と減少となった。 国別実績は、韓国6,880枚(前年比141.1%)、タイ12,167枚(同71.2%)、香港9,950枚(同432.6%)、ベトナム2,860枚(同なし)、台湾・インドは実績なし。一方、ウエットブルーの輸入は、71.7千枚(前年比86.1%、前月比131.6%)、牛大判 皮は47.1千枚(前年比110.4%、前月比124.8%)となった。 ○輸出動向は数量について、ここ2年間で2番目に多い輸出数量の月となったが、まだ回復傾向にあるとは言い難い。 ○米国の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げている要因となっている。 また、中国市況の落ち込みと、自動車販売台数低下に連動したカーシート需要の低下が拍車をかけている。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																							
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																								
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																								
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																								
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																								
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																								
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																								
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																								
②豚原皮 <p>○平成29年10月の輸出合計は、1,097,272枚(前年比94.8%、前月比102.4%)と、前年下回ったが、前月を上回った。 輸出価格は804円/枚で前年比+54円、前月比+17円であった。 国別実績は、台湾235千枚(前年比86.8%)、タイ796千枚(同98.3%)、韓国53千枚(同187.5%)、ベトナム7千枚(同なし)、フィリピン7.0千枚(同18.2%)、香港実績なしであった。 ○輸出動向については、現時点においても輸出量の好調さは継続中で、ヌバック等の需要がその要因と言われている。 皮・羊皮価</p>																										
3.レンジ	①油脂等 <p>○11月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は月・前年ともに+2円上げの88円(前年比102.3%)となり、牛脂は逆に-3円下げの90円(同96.8%)となった。豚脂は17ヶ月、牛脂29ヶ月の長期保合であったがここにきて価格改定となった。豚脂は外食を中心に「味の差別化」の追い風があるが、牛脂は、ファーストフード大手の店舗整理の影響やフライ需要の減少で下げとなった。 ○10月マレーシア産パーム油相場は、輸出好調と大豆油高で、101円と上げとなった。(前月比107.6%、前年比104.2%)。 ○10月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比+4円となった。工業用油脂は前月・前年と同様の47円/kg。 ○10月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の63円~66円/kg辺り。前年比3円安。</p>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td><b>平成29年11月1日</b></td> <td><b>90</b></td> <td><b>90</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	<b>平成29年11月1日</b>	<b>90</b>	<b>90</b>									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
平成27年7月1日	91	93																								
平成27年8月1日	93	93																								
平成28年6月1日	93	88																								
<b>平成29年11月1日</b>	<b>90</b>	<b>90</b>																								